

【公開日】 2026年8月6日

作成日 2026年 6月 26日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」

受付番号： 2026-4-056

課題名：AHR 活性型アトピー性皮膚炎の予測モデルの検証

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構・特別栄誉教授・山本 雅之

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の「地域住民コホート調査」および「三世代コホート調査」に参加された方

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間： 2026年7月（研究実施許可日） ～ 2029年3月

試料・情報の利用又は提供を開始する日： 研究実施許可日

【研究目的】

アトピー性皮膚炎は身近な病気ですが、一部に既存の標準治療が効きにくい重症・難治性の一群（表皮のAHRという受容体が過剰に活性化しているタイプ）が存在することが分かってきています。しかし、これまでは皮膚を一部切り取る侵襲的な検査をしなければ、このタイプを正しく見分けることができませんでした。

本研究は、マウス実験から導き出した「血液検査データのみでAHR活性化型アトピー性皮膚炎を予測するモデル」が、ヒトの一般集団データにおいても正しく機能するかを検証します。

本研究により、体に負担の少ない血液検査だけで病気の手がかり（バイオマーカー）を特定できるようになれば、将来的には患者さん一人ひとりに適した新しい治療薬を選ぶ「プレシジョン・メディシン（精密医療）」の実現に大きく貢献できます。

【研究方法】

本研究は、東北メディカル・メガバンク機構（ToMMo）においてすでに収集・蓄積されている既存のデータ（問診票、血液の成分データ、ゲノムデータ）のみを活用する後ろ向き観察研究（横断的解析）です。新たにデータ対象者の方を集めて、生体試料を採取したり追加の検査を行ったりすることはありません。ToMMo内の外部と遮断された安全な解析環境においてデータを統合し、予測モデルの性能（感度や特異度など）を統計学的に検証します。性能が十分でない場合は、ヒトのデータを用いて予測モデルの再構築・最適化を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本情報（性別・年齢）、調査票情報（アトピー性皮膚炎の現病歴）、血清メタボロームデータ、ゲノムデータ（最大 10 個の遺伝子バリエーション情報）

4. 外部への試料・情報の提供

研究結果については、個人が特定できる情報は除いた上で、電子的配信により共同研究機関と共有致します。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：張替 秀郎 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：該当なし

情報：研究結果のサマリー

5. 関係研究組織

東北メディカル・メガバンク機構 山本 雅之

株式会社 アンジェス社 山田 英

6. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機構では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。本研究の実施に要する費用は、アンジェス株式会社との共同研究費より充当され、マウス実験から導き出した「血液検査データのみで AHR 活性化型アトピー性皮膚炎を予測するモデル」が、ヒトの一般集団データにおいても正しく機能するかを検証します。

外部との経済的な利害関係等によって、研究の公正かつ適正な判断が損なわれるような事態を「利益相反」と言います。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 研究事務局

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-273-6214

【ToMMo の試料・情報を用いた分譲課題、共同研究課題、内部利用課題の場合】

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 試料・情報分譲担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-6955

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「7. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合